

1 はなす

おうちのひとにむかしのことをおしえてもらいましょう。

なにについてたずねるのかをきめて、おうちのひとにたずねてみましょう。

2 おうちのひとにむかしのことをおしえてもらいましょう。

おうちのひとにむかしのことをおしえてもらいましょう。

3 おうちのひとからきたことや、はなしをきいておもしろいことをメモに書いておきましょう。

2 おうちの人の話をきいて、もっとしりたいとおもったことや、わからなかったことをしつもんしてみましょう。

例

だんちにすんでいたマンションみたいなたものがたくさんある。

大きいたてものがたくさんあったらすごいな。

月 日

ペアスタディ 2019-9

1 やみくもに昔の話を聞く、というのではなく、テーマを決めて話を聞きます。テーマは何でもかまいません。おうちのかたが子どものころにやっていた遊びや小学生のころの思い出、現在住んでいる地域の昔の様子など、どんなことでも結構です。お子さま自身の小さかったころの様子などをテーマにしても楽しく取り組めるでしょう。

お子さまが自分でテーマを決められないときは、いくつか候補をあげて、その中から選んでもらうか、あるいは「じゃあ、○○について教えてあげるね。」と、おうちのかたがテーマを絞ってしまってもかまいません。

できれば、その当時のことがわかる写真や思い出の品物を提示しながら話をしましょう。そうすることで、より具体的な話ができるはずですよ。

3 現時点では、話を聞きながらしっかりメモをとる、というのは無理があります。ですから、話を終えたあとで、備忘録のようなつもりでポイントだけを書いておけばよいでしょう。

今回の学習のねらい

- ・ 大事なことを落とさないように聞く。
- ・ 知りたいことを尋ねる。

支援のポイント

「大事なこと」を落とさないように聞く」ということ、もう一つは、「知りたいことを尋ねる」ということです。

話し手に身体を向け、最後まできちんと話を聞くことや、おうちのかたが話した内容に応じて質問をすることができた場合は、よき聞き手となることです。

ほめ方のポイント

自分の考えを言葉や文章で表現することも重要なことですが、それと同じくらい重要なのが、相手の話をきちんと聞き、話し合う（聞き合う）態度を身につけること——つまり、よき「聞き手」となることです。

今回は、よき聞き手となるために、二つの目標を掲げています。一つめは、「大事なこと」を落とさないように聞く」ということ、もう一つは、「知りたいことを尋ねる」ということです。

話し手に身体を向け、最後まできちんと話を聞くことや、おうちのかたが話した内容に応じて質問をすることができた場合は、よき聞き手となることです。

また、**3** のメモをとるという取り組みは、小学一年生にはなかなか難しい課題ではあるのですが、そこに書かれた内容を見れば、話のポイントがきちんと押さえられているかがわかります。話のポイントをとりながら話をつけてあげましょう。

なお、次の**3**「かく」では、聞いた話を文章にまとめる活動に取り組みます。聞いたことを忘れないように、すぐに取り組んでもよいでしょう。

解答のポイント

自分の考えを言葉や文章で表現することと同じくらい重要なのが、相手の話をきちんと聞き、話し合う（聞き合う）態度を身につけること、つまり、よき聞き手となることです。話し手に体を向け、最後まできちんと話を聞くことや、おうちのかたが話した内容に応じて質問をすることができた場合は、よき聞き手となることができましたといえ、大いに評価できます。

44

45